

うさぎ組（3歳児）

目標

◎みんなでイメージを共有し、言葉のやり取りをしながら、「ごっ

うさぎ組さんでの生活もうすぐ1年が経とうとしています。日々の生活や活動の中で保育者や友だちに褒められ、認められ、「頑張ったらできた！」という喜びを味わう事で自信につながり成長してきました。緊張し

《自信家の3歳児》～トラブルがあるからこそ育つ3歳児～

3歳児は今まで獲得した力と認められた経験から自信がつき「自信家の3歳児」と言われています。自分大すき、自分が1番！と自己主張する3歳児はお友だちも大すき！だけど毎日ささいな事でトラブルにもなります。その中で「やらないで。嫌な気持ちだったよ」と自分の気持ちを伝え「ごめんね」と相手の気持ちに気づき、素直に謝る経験をしてきたからこそ仲間の絆が芽生え、会話力が育ってきました。それでも相手が話を聞いてくれない時は保育士に訴えてくることもあります。

「どうしてトラブルになったのか？」「どんな気持ちで言ってしまったのか？」そして「相手はどう思っただろう？もし、自分がされたら・・・？」と

《生活面》～見通しをもって行動できるように～

生活面では「次は何をするか」見通しをもって行動できるようになりました。準備から片づけまで保育士が「〇〇してね」と促すのではなく「次は何をするのかな？」と気づかせる声かけや「時計の針が〇の所に来たら終わろうね」と区切りをつけることで「もっと遊びたいけど・・・」の気持ちを切り替えて行動する姿が見られます。朝のお集まりでは「昨日のリーダーさんは〇〇



《遊び》

遊びの中でも仲間と簡単なルール遊び（お引越しゲーム・マルドッチ・かくれんぼ・だるまさんがころんだ等）を楽しむ事でルール（お約束）を理解し守ろうと自己コントロールする力が育ってきました。1番になりたくてルールを破ろうとする子には、仲間同士で声をかけたり、時には言い合いになる事もあります。保育士が仲立ちになりルールを守る事の大切さを伝える事で、子ども同士が対等の立場で言い合える関係が築かれてきています。自分が大好きな3歳児は、自分が大好きな



「2匹のやぎのがらがらど

今日は大好きな絵本「3匹のやぎのがらがらどん」をアレンジし、「2匹のやぎのがらがらどん」ごっこを楽しみます。子ども達が絵本の中の言葉やストーリーを表現したり、自分たちの言葉でやり取りを楽しみながら進めていきます。

ごっこ遊びの中では子ども達が日頃から楽しんでいるケンケンやスキップ、ルール遊びも取り入れ、自信をもって表現できるようにと子ども達と話し合いながら遊びを展開させてきました。

今日は大勢の前で緊張してしまうかもしれ

